大隈家叔花文書

リ 5
5880
7

昭和十五年五月三日寄贈
市島謙吉氏

（大隈重信侯傳編纂會）

門 0 5
蒙 2880
券 7

寺嶋宗則書翰

十五通

紙數四十九枚

七月十九日 技合海

（大阪市立図書館）

門 リ 5
號 5880
巻 7

十 大隈重信書簡

（大隈重信関係資料調査会）

往京百二十五号

第一ニ及ヒ本條議ハ仮令國ト一の條約改正案ハ既ニ商務より支改ヲ及上申ハ其ハ義の如ク本邦ハ仮令公使ヘ一の示ヲ其ハ一の案モ同公使所望ニ係ル一の示ヲ存ス於改稿案美文ハ要ス民ハ公間協議ハ為ス意ニ級ヲ自了ス

十二年四月廿九日

大隈伯大隈重信侯

お務ニ寺島宗則

寺島宗則 我了

（大隈重信関係資料調査会）

大隈文書

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

寺島宗則 抜萃

過般當方伊藤氏ヘ差遣ハ改正條約案
ニ關シ貴国ヘ送致意見別紙譯文ニ面中出ス
乃ち伝達付為ス

第一 一ノ至大ノ道論即チ新税目ハ約書第一部分ト
看做シ十二年六月廿日 外務卿 寺島宗則

第二 約書ハ 大隈 卿 大隈重信殿

第三 日國ニ於テハ輸出税ハ惣シテ課セサルハ本政ニ
[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

伊国公使意見書（抜了）

覺書

以國及ヒ日本両國間ノ通商條約改正ノ約書草案中
余ノ注意セシ諸件ヲ左ニ陳列ス

第一　一ノ至大ノ遺漏即チ新税目ハ約書中ノ一部分ト
看做ス可ク故ニ約書ト同一ノ期限ヲ有ル可シト言ヘル一條
ヲ欠クコレナリ

第二　約書ノ期限ヲ十年ト一定セシハ余ニ於テハ甚
タ短少ナリト思惟セリ少クモ之ヲ十二年ト爲ス可シ

第三　以國ニ於テハ輸出税ハ惣シテ課セサルカ故ニ第

外國交際書類 (第七)

第三　公國ニ於テハ簡出新ハ勢ヲ輸ムヤ如キ或ハ新
ト雖モ其ヲ出ス十二年十月ヲ過ヲ
第三　公書ト雖モ其ヲ十二年ヲ過ヲ
ヒ公ヒヒヒヒ
書類ヲ公ト共ニ公書ヲ同ヒ
第一　ヒヒ変ヒ更新
余ヒ新高ヒ高ヒ
公國ヲ日本西國間ヒ
新書

(大隈重信侯傳編纂會)

二條ノ編纂ハ改換ス可シ
第四　内地ニ以國人ヲ入ルヲ許可スルニ関スル特別且
ツ互ニ相投議ヒシ約書ハ之ニ調印スルヲ約定スルカ故
ニ他ノ二港新開ヲ許可スル所ノ第五條ハ不要ニ属セ
リ
第五　第七條ハ現存居留地内ノ裁判権ニ付キ過度
ノ變換ヲ来シ故ニ以國政府ニ於テハ之承認セサルヤ必
然ニシテ余ノ草案中ニハ以國人若地方規則又ハ警察
規則ヲ犯セル場合ニ於テハ以國領事裁判所ニテ日本
法律ヲ照行ス可シトノ意見ヲ陳ヘタリシコノ事タル現

(大隈重信侯傳編纂會)

（大隈重信関係傳編纂會）

今存スル所ノ景狀ニ比スレハ已ニ巨大ノ一變革タル可ク之
ヨリ尚ホ一歩ヲ進メ得可キヿハ恐クハ理ニ合セサルニ似タリ
ト余ハ思惟セリ

第六　第九條ノ編纂ニ於ケルモ亦改換ヲ要スル可ク通
商條約書ニ依リ制定セラレタル航海ノ權利ヲ除キ其他都
テ該條内ニ掲クル諸權利即チ以全國内ニ於テ購売、
貿易、居住ノ權利ハ該王國ノ憲法ニ照シ外國人一般
ニ於ルカ如ク日本人ニ已ニ許可セシモノナリ
以上記スル諸件ハ約書草案中目下陳述スル可シト思惟
スル所ノ余ノ自己ノ意見ニシテ吾政府確實ノ志旨ハ後

（大隈重信関係傳編纂會）

（大阪市立中央図書館蔵）

（大阪市立中央図書館蔵）

寺島宗則 様

軍鉄新ストーンヲル代拂方ヲ露ヨリ口ヘルトソン
ヒ書ヲ書簡譯差進ヲ可委細ヲ書面ヲ
以テ御報ヲ及申上候

七月廿四日　寺島外務大輔

大隈大蔵大輔殿

（大隈重信関係文書編纂会）

（大隈重信侯傳編纂會）

平鉄紙ストーンヰール代拂方ニ付紙幣ト正金
ヒ為替ヲ振ル方ニ付石鹸屋ヲ洋銀十二ヶ月
年六分年一セントニテ可ニ則相当共手ニ正銀ヲ
所有ス但如紙幣ニ為替ヲ振ル場合正金百弗ニ付百四
十弗（八十セントヒ当ル）七十八セント相当ニ付キ本ニ序ニ中上ル先達テ
オールド氏ヨリ所ト銀塊ニ義印度ニ仮幣局
ヨリ受ル受ル免角濠洲百万弗ニ付
近ニ同所ヨリ助定書送越ス故ニ積ル事四ニ我ハ
其節ニ拂方ニ付

（神奈川知事宛）

コベルトフン　拔了

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

青木周蔵等唱業(巻九)

明治十一年第二号第信

先般會計事務取調ニ為我大蔵省ヨリ派出セラレ
内閣「バロン、フオン、シーボルト」氏義當境ニ於テ寧ロ
社会ニ於ケル如ク先国中出営ノ際其後独逸帝国「サツ
クセン、ワイマル」ニ於テ再度会計事務ヲ
調査ス為ニ本人今ヲ以テ及ビ根据ノ為ニ
始メ特ニ「ワイマル」公殿下ニ於テハ我政府派出ノ委員ヲ
国会計事務政府ノ方ニ於テ我ハ則
特ニ次ニ「シーボルト」氏ニ限リ国会計ニ関係ノ秘密

と共に敬等迂生遠識を以て不甚為許容彼
既年以来依存同人我彼地帯留中も於官境右乃
今一度得便利等を以て新宝を開拓古成中以元来
用ゆるを以て日イヤルと以を東洋諸邦と交際上
有益平素所注細意所由特と我国与和蘭国
与を結交と性情と為之以来同公と良妃と當初蘭王
と貴妹と云自我氏等と接し敬と我下に対
こ交際独行之志敬為し称と為如何候其故留学コトホル
上氏に能通ず等り故所已有大学校入り居
来て我自費生山路士猿虎吉等者一年者一年者と

以下屢回答し招待を受け可已あれ国人供奉し節を行ふ
国家の待遇大学校教授等等特別招待し国王義之教授
者の教育を要望し博士者下宿教授の當境
ミテ屢々会談し陸国の文明一般を論じ且
一般の人皆公使閣下に公妃と称し称号を
称と称称称称称コレーボルト」氏「ワイマル」侯爵の中国
公使
合意を求めあり招待を談国と学問博士府
八羅越又使節を待遇し歓の中外交官長官
方様と御国と親交交際を以て国
産物貿易と義を行ふ天寿を以て無論教授

就中隣国「アボルタ」産ノ製産ハ毛布ノ類ヲ経テ
我国ニ輸入セラレ其後牙保ノ手ヲ経テ利益ヲ射
ル製産ノ国ト相関不ル可カラス試ニ諸般ノ
産物ハ国内ニ出ル日ニ其我国ニ入ル迄有ラユル産
價ヲ以テ輸入ノ手続ヲ不ル牙保ノ手ヲ経テ製産
ノ方我国ニ入ル迄ハ公国必要ト為ス
我国ニ輸入セラレタル産物ハ
師ニ直ニ買得ル為ニ行ル者ヲ
ニ依テ下産我国産ノ
リ毛布紙片等ハ一見ス
ル能ハス我国人民ノ需用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陛下ニ於テハ猶尊考あらせられ不日御帰
朝ありて右両国ヘ親睦ト交際ヲ相開ク可キ
ヲ親戚ヲ以テ路徒納翼ヲ表シ年意機
會ニ乗シ国庭等ニ於テ我外交政策ヲ陳述シ得
利ノ義ヲ有ス可キ所申ス（現ニ下官ヲシテ行ハシメ義ハ當国皇帝ニ於テ余程尚生ニ移ラレ候由本月二十五日発信）
ノ節親シク国君ヲ接ス
ル等ノ接待ヲ之申ス
本日ハ敢テ禮シ御ハ
公法上ニ於テ未タ一国主ト為ス可キ我
陛下ヲ
何等ノ所為ヲ為サ
ル所ノ陛下ニ於テハ敢東洋ヲ
顧ミ
ル事ヲ
公義ト
我国ニ
ヲ
幸
命七月廿日ハ
ハ
ワイヲル
山
公即位
ノ
祝
ヲ
国ト
祭ヲ

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺島宗則伯

明治十一年三月九日

青木全権公使

寺島外務卿

西園寺文部大輔ヨリ勅奏科ヲ以テ
受領申候

寺島宗則 拝了

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]華盛頓全權公使去
法朱[illegible]因狀拔萃[illegible]
寫[illegible]

九月十一日　六字

寺島宗則

大隈大蔵卿殿

大隈大蔵卿宛　寺島外務卿

指令　大蔵省ヲ経テ　ヨリ許スト雖モ或保護

我国ノ官民并其貨易ノ保護如何ヲ注意セサル可カラス若シ夫レ獨リ我国人ノ用下ノ変易

題ニ同意シ各国ハ之ニ同意セス我国ヨリ輸送スル物品ニシテ若シ加税ヲ課セラルヽ事アラハ(仮令一分ニテモ)本国ノ貿易

我國ニ於テハ貴國ノ益々隆盛ニ赴キ其國權ノ益々擴張スルヲ望ヒ而メ又方今貴政府經費多端ニシテ之ヲ補フニ歳入額ヲ增スヲ要トスルヲ知ル故ニ我國ハ貴國ノ財政ヲ調理スルカ爲ニ或ハ自由貿易ヲ許ストモ或ハ保護稅ヲ設ルトモ唯貴政府ノ意ニ隨テ適宜ノ良法ヲ制セラレンヿヲ欲スルモ先ツ我國ノ官民并其貿易ノ保護如何ヲ注意セサルヲ得ス若シ夫レ獨リ我國ノミ閣下ノ發題ニ同意シ各國ハ之ニ同意セス我國ヨリ輸送スル物品ニシテ若シ加稅ヲ課セラルヿアラハ(仮令一分ニテモ)米國ノ貿易

抜了

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

品ハ忽チ之カ爲ニ全ク貴國ノ市場ヨリ除却セラルヽニ至ルハ判然タリ且ツ閣下ハ我米國ノ物品ニ他國物品ニ課スルモノヨリ高稅ヲ課セサルノ事ハ閣下之ヲ保証シ難シト之レ如斯ナレハ縱令我國ニ輸入スル貴國物品ノ輸出稅ヲ廢シ更ニ海港ヲ開クモ到底我ニ利ナシ賣ラスシテ買フハ我レヽヲ爲サス又我國ノ物品ヲ貴國市場ヨリ除却セラルヽノ事アラシメンヨリ寧ロ我カ爲ニハ貴國ノ諸港ヲ我米國人ニ鎖サルヽニ若ス此事情ナルヲ以テ他國ノ共ニ此發題ニ同意スル欲又ハ我米國ノ物品ヲシテ他國物品ヨリ高稅ヲ課セサルトノ事即我國物品ニ稅額ヲ區別セサルノ保証ヲ得ルニ

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

約書草案

非レハ我國ニ於テ閣下ノ發題ニ同意スルヲ得サルヿ明ナリ閣下宜ク此意ヲ貴政府ニ通報セラレヨ

二日本政府並ニ米合衆國政府ニ照會シ兩國間ニ現存スル條約中ノ若干條ヲ改正セントスルノ意ヲ通セリ依テ兩國ノ辨理大臣即チ日本帝國ノ方ハ日本皇帝陛下ノ特命全權公使（青山清成）米合衆國ニ方ハ合衆國ノ國務卿（ヲミルトン、ヒシ）各其政府ノ旨ヲ確領シ該條約ノ諸款中從前ノ實驗ニ據リテ明カニ改正ヲ要スル分ヲ改メンカ爲メ相會同シ切ニ互相ノ本理ニ基キタル左ノ條款ヲ協議決定セリ

第一條

（大隈重信侯傳編纂會）

終了

(大隈重信侯傳編纂會)

約書草案

一千八百五十九年ノ江戸條約第十三條中ノ約旨ニ基キ曩ニ日本政府正ニ米合衆國政府ニ照會シ兩國間ニ現存スル條約中ノ若干條ヲ改正セント欲スルノ意ヲ通セリ依テ兩國ノ辨理大臣即チ日本帝國ノ方ハ日本皇帝陛下ノ特命全權公使(吉田清成)米合衆國ノ方ハ合衆國ノ國務卿(ハミルトン、ヒシ)各其政府ノ旨ヲ確領シ該條約ノ諸款中從前ノ實驗ニ據リテ明カニ改正ヲ要スル分ヲ改メンカ爲ノ茲ニ相會同シ切ニ互相ノ本理ニ基キタル左ノ條款ヲ協議決定セリ

第一條

(大隈重信侯傳編纂會)

抜了

第一條

[illegible]

一千八百六十六年六月二十五日ヲ以テ両國ノ委員江戸ニ於テ調印セル改税約書ハ計ルニ最早日本國ト合衆國トノ間ノ通商ヲ進捗スルニ緊切便益ナラス故ニ其税目ヲ併セテ茲ニ之ヲ廢棄ス尚且此ノ訂約ノヨリ以後ハ輸出入税則ヲ設定スルノ特権及ヒ帝國ノ税関ヲ管理スル諸般ノ規則ヲ制定スルノ権力ヲ併セテ之ヲ日本政府ノ獨占ニ歸スルヿヲ明約ス但シ次ノ一項ハ此ノ例ニアラス即チ合衆國領事法庭ノ訟事ニ干渉スル諸規則ニシテ其関係同國人民ノ上ニ及フ者ノ如キハ両國政府ノ共諾ニ依テ之ヲ設立スヘシ

第二條

第二條

[illegible]

條約、約書乃至貿易章程等ノ中ニ掲タル日本海関税則ノ制定ニ関スル諸條款中別ニ明文ナキ者ハ一切之ヲ廢却ス但シ或ハ謬誤ヲ來タサンヿヲ慮リ上述ノ條款ヲ茲ニ掲出ス即チ一千八百五十八年ノ條約第四條ノ第一第二第五及第六章并ニ同條約ニ附シタル貿易章程第七則ノ全文是レナリ

第三條

貿易章程第六則中ノ條件ハ日本政府ノ自定ニ為スヘキヿ當然ナリ故ニ茲ニ之ヲ廢却ス但シ日本ノ諸港ニ到ル米國ノ船隻ニハ一モ例外ノ噸税ヲ課ス可ラサルヿヲ約シ

[illegible]

第三款

第九條ノ人民及臣民ハ[illegible]

[illegible]

(大隈重信侯傳編纂會)

將タ入出港等ノ手數料トシテ米國ノ船隻ニ課スル金額モ敢テ殊遇國ノ船隻ニ課スル者ニ超ユ可ラサルヿヲ約ス

貿易章程第三則ノ末章ヲ左ノ如ク改正ス曰リ

米國ノ船隻及其船艙、船客ノ用ニ供スル物品モ亦之ヲ稅關ニ屆出ヘシ但シ入出港ノ船隻ハ皆此改正ヲ遵奉スヘシ

同章程第三則中第四章ノ末文モ亦左ノ文ニ更換ス曰ク

但シ稅關官員帝國ノ征稅法ニ基キ貨物ヲ評價スルモ妨ケナシ

(大隈重信侯傳編纂會)

[illegible]

同条第三項中第四条ニ定ムル[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

第四條

海関税則制定ノ事ニ関シ合衆國ノ方ニ於テハ既ニ此約書ニ依テ一大譲與ヲ為セリ故ニ日本政府ノ方ニ於テモ明治某年月日ヨリ以後某地ノ某港ヲ開キ現ニ神奈川港ニ行フ者ト同様ナル限規ヲ立テ以テ住居貿易ノ為メニ来ル米國ノ人民船隻ヲ受ンヲヲ相約ス

某港ノ境界ヲ定メ乃至其居留地ヲ至當ニ管理スル詳細ノ規則ニシテ其関係必定合衆國ノ人民及其財産ニ及ブ者ノ如キハ後日各自ノ政府ヨリ特ニ辨理大臣ヲ確任シテ相商量セシメ両國政府ノ共諾ニ依テ之ヲ設立スヘシ

（大隈重信侯傳編纂會）

第五條

本約ヲ訂結スル兩國政府ノ何レヲ論セス一方ヨリ他方ニ輸入スル各貨ニハ何樣ノ事アルモ決シテ例外ノ稅額ヲ課スヲ可ラサル事ヲ約シテ茲ニ之ヲ確言ス即チ合衆國政府ニ於テ日本國ヨリ輸入シタル各品ニ賦課スル稅額ハ其殊遇國ヨリ輸入セル同種ノ物品ニ所課ノ額ニ超ユ可ラス

又日本政府ニ於テ合衆國ヨリ輸入シタル各品ニ賦課スル稅額ハ其殊遇國ヨリ輸入セル同種ノ物品ニ所課ノ額ニ超ユ可ラス

第六條

第六節

[illegible]

第七節

（大隈重信侯傳編纂會）

日本政府曩ニ西洋諸國ニ行ハレアル基本ニ則リ其貨幣法ヲ設定セレ以来其新築ノ造幣局常ニ工ヲ斯タス是ニ由テ之ヲ觀レハ該帝國通用貨幣ノ事ニ係ル約款ヲ存スルハ最早無益ニ屬ス故ニ訂約ノ雙方ニ於テ一千八百五十八年ノ條約第五條ノ全文ヲ削除スルヲ必要ナリト思惟シ依テ相約シテ之ヲ削除ス又米麥銅ノ輸出ニ関スル同條約第條中ノ第十七章及第十八章モ同シク無益ニ歸ス依テ茲ニ之ヲ廢棄ス

（大隈重信侯傳編纂會）

寺島宗則 撰了

N1K289

大阪市立図書館

（大隈重信侯傳編纂會）

伊藤侯傳稿

副題

古島陶彦

（大隈重信侯傳編纂會）

寺島第別録了

[illegible]

[illegible]

[illegible]

本願寺蔵

寺蔵本願

寺島宗則談了

（大隈重信侯傳編纂會）

然れども其時分金と銀と日本の方は再下り私
共の国の方は金より銀の方が金四千万の金
を分捕致し方と銀や其時分三千
五百万の銀を分捕致し其外に銀の
方は五十万の金と十三万十三万
毎年に暴風雨の為に神戸新潟両港
皆大破損致し其他其時に一の
過失有り且紀州表と銀を書面を書
と仏国公使大小雑沖山乃兵庫損所に一の

（大隈重信侯傳編纂會）

北海道大学図書館

有之候ハ、餘儀なく外國人京中へ請求ハ買上代
酒料と有之候ハ、外國三千人都合四萬
之方五百人五百人ハ兵庫一ヶ所ハ外國人
之石地上ハ、江戸ハ因循ハ諸藩人ハ諸
職人ハ抵抗ハ拒り行ハ兵庫ハ遠地ハ御船便ハ
帆船限ハ等ハ有之儀ハ外國人ハ是ハ中立
ハ無利益ハ商ハ生ハ有ハ不安ハ屬ハ推了有
之ハ、ハ保ハ市金通一方ハ兵庫有之ハ
屬商ハ大ハ五万ハ有之ハ通ハ金ハ
ハ金ハ通国ハ利ハ中ハ少ハ有之ハ事

明治36年

寺嶋宗則 様

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明治36年

寺嶋宗則 様

[illegible]

[illegible]

[illegible]

幸鳴宗則 蔵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺島宗則 撰了

明治元年

大德寺府市御坊所元西京都所元西
京上京市北戸西横町条條内自分
自然法書加之事夫ノ坊西隣ル所ノ引続稱
北戸西坊ノ法隣ル引西京上京文也書ヲ中
上京已上

市中

大隈八太郎殿　寺島陶蔵

大隈侯爵家所蔵

（大隈重信侯爵関係資料）

寺島宗則撰

時情況自然古代同盟貢献者一部分
第多為者有不堪遂行成功者故
号令紀綱亦弛緩遂至第隙之乗じ彼の甲辰年を幸
若し業中傷亡に至る者少かりしと雖
寡しと雖も不敏の行為一面情勢偶然の
三者三者共に其本紀長所に角に故を生
ト中の之故に許容し難き
一部の未だ復未だ接し陰謀中結黨を企
云要亦時未何百年の経て之を廃する能ハス

（大隈重信侯爵関係資料）

大阪電信局蔵書

又廣さハ不足候得共本と賛ら易キ橋ヲ
用フヘカラス況橋ハ来改府一稿ト形工夫ヲ為ス
創製シ試ニモミテシワニシテ引パリテ見ヨ決シテ破
裂セス但シ陣戦ハ敵人来ル者モ来ル
万ナレハ為ス可ク写之ヲ擬シ得タルヲ以テ若米
改府ト云ヒ日本改府ト僅初
テ五セントシ如キ小札ヲ見其試製シ堅キ鉄
キ一枚ヲ借リ得ル事有ラハ
ハ幾多ノ弊ヲ除ラト日何
ニ十ヲシテ良橋ヲ造製
ラ為ス可ト願ク

大阪電信局蔵書

十二月三日

大隈拝

ち鴻

大隈重信侯傳編纂會

幸鴻宗明 撰了

大阪

十二月廿三日

明治帰港ニ付英ヨリ使ハ差越ス

一横浜ヨリ一京ニ来ル法ヲ知ル所ノ

一京ニ横浜ニ官役通ノ日本商人ハ

作ル

一中山拔明ヲ使ヒ伊藤ガワ同伴ニ長崎ヨリ

横浜ヨリ京ヘ官役ノ通ル法ヲ

知ル所ノ通ル法ハ

陸ノ路ヲ幸使中ヨリ

大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會

動

玉之芳叢種瓦中ニ既ニ愛ス三ツアリ
雨ニ濕レ風ニ醉ヒ眠ルガ如ヒ又ヒ
家ニ歸リ一飯一食衝人氣ニ觸セリ如何
唯ニ一言ヲ出ヲ寫ス
所由ヲ問ヒ知ル所ヲ以テ
ヒ之度ル所後ル事ヲ
只我ガ快ヲ付一日
能ク刻ヒ之ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺嶋宗則我了

本月十五日附ヲ以テ我龍橋四郎ヲ以テ貴函ヲ受
我ヲ使ハレ医学ノ部状況ヲ調査シ報告ス
及ボアフナード氏調査シ報告ス
送ル及ヒ中越永知ノ分ハ謄写シ立ル
謄写ハ四月ノ及ハ本月四日ノ
昨年十月十四日

大隈大蔵卿殿

寺島外務卿

青山学院図書館

孝唱常則栽了

時ハ一クスに政黨論ハ至ナキ由バンクより
傳聞し形勢以下等越等と中出来る
而大隈氏ハ雖形状疾おれの未完之を
嘲ーを鑄スル何故歟日を経ず日本人と慨
怒す恵地日と喫煙吳話時有るあと勤を
当面セスレハ勘辯評議と唱へ第と来成を誤
り大嘆息と云ナリト例
困り力や水色ハ色ハ角ハ頭ニ古僅位置て有を
バンクに出送ヲ和ハ桜政ハ　僕ハ外と雖論

有之時分為言上後ハ帰府得
尽管可申出立

分言

大隈伊豆守

侍坊

大蔵

施左

大蔵経紙幅

仁王

如意 大蔵

[illegible]

[illegible]

(大蔵経研究紙使用事業)

(大蔵経研究紙使用事業)

伊達宗城
寺嶋宗則
副嶋種臣

九月廿七日拔金演

一
六
一

八十三通　紙數二十九枚

（大隈重信侯傳編纂會）

八月三日　於横浜二十五日出帆

一　六　一

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

八「ホルスモール」の内アイルオフマンライト」に乗移り

所也

聖上陛下機御を以て御内閣を召集し

[illegible]小閣下は初め御者を[illegible]

[illegible]下拙[illegible]二ヨルク出帆ハ

リハプールニ着船ニテアストレ出迎ヒ[illegible]

同船日記ヲ[illegible]パーソンヒ拙旅館ニ[illegible]

日記ニ通極ヲ[illegible]待改[illegible]

[illegible]地公使ニ[illegible]

一発動ニ[illegible]ハ[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

ハ「ホルスモーレ」の内「アイルオフワイト」に拠者なる故なり

再ビスコットランドへ移轉ス此ハ

数ケ月ニシテ新ニ傳聞スル所ニ依ル

決シテ乃チ記名後ニ再ビ貴男ニ

帰国之お係ル極都合ニ付

一番雑物使鈍ニ成ル

旅鈍ハランガムホテルトヤ家ニ

繁雑ニ極ル府近ニ他ニ家

小花ル鈍ハ貴等ニ義ハ

一箇の生徒員文部省に送り方免角[illegible]
度速不一定更来[illegible]
[illegible]
[illegible]大使合流[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

壬申七月十日　　子爵大鳥大輔殿

南島アルオ[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

日記

七月八日 陽暦十一日 晴 午後第二字船ヨリハプールニ着ス其トシ
迎謁ス同所奉行パーフンス大佐ノ他貴官數輩同席ス第三字
後遠車発取パーマン送テ半途ニテ別ル懇待ヲ尽シ
テ去ル夜第十字龍動ランガムホテルニ着ス パークス来
訪明日ソウサンプトン謁見ノ事ヲ談ス蓋シクロサン頃府ノ
南島アイルオフワイト府ヲ距ルコト七十里余ノ行宮ニアリ明後日再ビ其
地ニ発シテスコットランドニ遊幸セントス帰府ノ期限

（大隈重信侯傳編纂會）

数日ノ後ニ在リ故ニ急ニ謁見之礼ヲ行フヘキヲ決ス
尤モ行宮内謁タルヲ以テ乃チ禮服ヲ用ヒズ此方ニテハ常
休ニテフロックコートヲ着シ可相見ト云但シ外務卿ヘ
謁見ヲ乞ノ書簡ヲ當日贈答ノ暇ヲ以テ謁見後
ノ往復トナス（十日之ヲ贈ル）
同九日 晴 朝 第九字八ークス及ヒアストン来道ス大雑
二日 務使鉄木書記官ヲ率テ同車ポルスモースノ海口岸
ニ至リ車ヲ捨テ浅船ニ上リ第一字アイルオフワイトニ達
ス一大園中オスバルント名ル宮樹アリ乃チ行在所ナリ
一室ニ就テ休憩ス饗餐ヲ賜フ外務卿ガランウェル

（大隈重信侯傳編纂會）

宮内卿某老女某及ハークス等陪筵ス時アリテ
外務卿大辨務使ヲ引テ内殿ニ至ルクウヰン中史
ニ立西嬪側ニ侍ス外務卿一禮シテ入リ右側ニ立ツ大辨
務使國書ヲ奉シテ入リ一禮ヲ施ス外務卿姓名ヲ奏ス大辨
務使國書ヲクウヰンニ呈スクウヰン之ヲ外務卿ニ渡ス大辨務
使直チニ言上書ヲ和語ニテ讀ム英語ニ譯スルヿナシ外務
卿別ニ英語ニテ譯セル一紙ヲクウヰンニ呈スクウヰン外務
卿ヲ顧ミ英語ヲ解スルヤト云ヘリ近ク進ミ來テ曰今般
大辨務使トシテ我國ニ在留喜悦スル所ナリ唯遺憾
ハ使節延着ニ因テ面會ヲ得スト勅語了リテ退ク○

[illegible]

大蔵卿ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

女王曾テ煩擾ヲ厭ヒ尤モ人ニ接スルヿヲ嫌フ故ニハ
クス美我書記官モ此席ニ至ルヿヲ得ズ○夜第八字大
辨務使帰館

陛下茂ス外臣

日本國至尊天皇ニ代リ始テ

閣下ニ侍スル人公使トナリ恩遇ヲ受ル感謝ニ堪カラス

抑モ

陛下ニ於テハ從来公使ヲ我日本國ニ派出スト雖モ我國未
タ今日マテ其禮ヲ復セサル為ニ事勢ハ

陛下ノ寵臣等ヨリ

（大隈重信侯傳編纂會）

（大隈重信侯傳編纂會）

言上振

謹テ

陛下ニ奏ス外臣

日本國至尊天皇ニ代リ始テ

闕下ニ侍スルノ公使トナリ恩遇ヲ受ル感喜淺カラス

抑モ

陛下ニ於テハ從來公使ヲ我日本國ニ派出スト雖モ我國未

タ今日マテ其禮ヲ復セサル事勢ハ

陛下ノ寵臣等ヲ

（大隈重信侯傳編纂會）

（大隈重信侯傳編纂會）

副島外務卿殺ス

五月　百七十八号

陛下ニ奏上セシテ更ニ疑ナシ今ヤ臣貴政府ノ下ニ任シ関償金残額拂方延期ト我ガ當四月二日
陛下ノ外務諸卿ト共ニ事ヲ執テ親和誠實気脉勉勵終始歡喜以テ両國交際ノ基本ヲ扶ケテ堅
固ナラシメ両國ノ信任ニ堪ヘシメントス臣希クハ日本國外國ト交通シ以テ將来ノ幸福ヲ期スルノ願望ヲ達スルニ
稗助アランコトヲ

（大隈重信侯傳編纂會）

（大隈重信侯傳編纂會）

副島外務卿控

五月　百七十八号

下ノ関償金残額拂方延期ニ我方當四月二日付を以英米佛蘭四国公使ヨリ書簡差送左書簡迫書ハ既ニ差出置候ヘ共猶又ヒヨウ国代理ヒヨウ使ヒパルトより当書簡第出ヒ来ル趣を忠告と志より ヒ事ニ付ハ得共文中ニ言ヒ隔不ル能ハ事ニ付ハ未タ不採ヒ拙生書面答ヒ心ヒ至ル事ヒ付ハ方ヒ趣ヒ若者ヒ心得ヒ為ヒ此ヒパルトヒ以ヒ通ヒ知ヒ致ヒ

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

不越成言者ハ國を交ふるの限り也来
年条約改正ハ陸奥宗光氏和蘭法律通白等東京府
内地雑居ハ吟味ハ此等ハ有害無益なるべし一言を警
戒し法を施せる國體を思ふ事を以て之を四海に
風と称し青年子弟言ハ和漢偶老生毛亦柳
橋ハ多明文を如何ハ再文字を書くも思議へ
らきるまてし治國ハ將来施行を要を假令ハ
一個ハ地方セリ言ハ言ハ言ハ言ハ言ハ言ハ言ハ言ハ言ハ
ト云法主張スルモアレハ其後来ん四海氏法ルハ
國体許其歴史ハ為其改体ハ為者を詳ニスんこと非

サレハ施ト雖モ其ハ精神不定ニシテ不定ニ動カサ
ル者ハ其成業ハ成ル能ハサルヲ以テ一定
ヲ以テ施ス事ハ害不安無
ヲ以テ施ス事ハ害不安無
学トシテ人ニ言ヲ解セスシテ因循スル所之ヲ
解シ得ルニ至ルマテハ施ス可ヲ可也ト雖モ方今我
政府ト雖モ大度一日初業ヲ失策ヲ為ス者ヲ面目ヲ
改コンセルワチ前法ヲ守リ成法ヲ不棄ルト雖モ
併シ今ハ流癖ト称シ一歩ヲ抜ル能ハス老ヲ亦不解
ニテ番用スルヲ流癖ト名ケ其ヲ流癖
ト見做シ其ヲ不倫ノ事ト為シ其ヲ不倫ノ事ト為シ

言相違無之一従先年無之其世事を雖一強除
指長を為る者若長其時解一得さる時ハ数年と
いえども解一ゆるさず不施可也英人レイ百ガントト
借財事業利益條約改定ノ事皆流弊に陥ル
ノ形ヘ木戸参議因氏ハ往事ノ大失策ハ甚顕ハ詳
ニ史に記し後人を戒めたりと宜ク其言ヒ如人と為ス過
を埋致ス国ノ初之長ハ史官四年ヲ以賞ノ制ス事
と存ノ一致ス第一議ノ至ル
一外務者ハ之事ハ行状類と者ハ仮令名言行り
といえども外務者と論不行ると雖一の中に其妻に移ス者
セシ馬に乗セ

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

ニ同行シ或ハ横浜市街ヘ
散歩スル数多度

今ヤ大使恰然ハパークス等ニ向テ可中真対彼カ魂ヲ惚ラシ為ニ自今二年ニ在テ
ハ[illegible]不得已ハ嚴ク彼ヲ禁酒シ命シ服セサレハ
辭セレト諭シテ彼禁ニ[illegible]ハ[illegible]セラレ[illegible]
一使節ハ交際ヲ務ハ[illegible]ニ[illegible]ヲ[illegible]ニ[illegible]
レ[illegible]ハ[illegible]ヲ[illegible]パレメントト不同中
ニ付来年ニハ[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]
ヲ不言テ[illegible]ハ上策ナラント集議ニ決中ハ何ト
ナレハ米ノ覆轍アレ之
一本邸ヲ五等ニテ一等ヲ書記官等遣英ス或前

（大隈重信侯傳編纂會）

便ハ改革ト通達致差出ス標法案計二ツ下ル
一辨務使給料一定ニ義先便宜業業事務
豊出案説ノ如ク事ノ解セサル内ハ決定ナラスト雖モ十分
辨明ヲ尽シ協議ヲ通ハ試ヲ以テ至事ニ協議ヲ撰
リ新ニ
一法案ハ皆急ハ二ツ条ニ外数件ノ害アリ
皆ハ二ツ発シ別ニ談議ノ件ニテ先上海文ニ張一ノ紙議ノ
所増全権調印ヲ政府把准ナキノ例トシテ先便一言ヲ出
ニ條約ハ事ノ為ニ非ス為国ナレハ一長暖昧ニ疵没ハ
去ル表露ニ改ル般ノ務ハ以ル四陸ニ於一条ハ向

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ニ於テ家伺ヲ通ト者ト是亦不解ノ大過ナルヘシ伺ト
ハ活動ヲ以テ後者之ヲ獨乗ノ手段ヲ仰ヲ歩形セサル
ヲ以テ之ヲ許スハ報恩ナリ萬ヲ以テ毎等勝ヲ図
ル

中有司　　寺島宗則

副島外務卿

二百三十以下ノモノヲチツキエセントシテ外國ヲ被
ヲ以テ彼政府ニ對シ大失敗シ由外國ニハ老ルホ
ト被歩ヲ以テ政府交際事務ヲ誘シ以テ白髮
ノ方交際ニ至ル性綿密ニシテ和墨ヲ以テ安ヲナル

性質ナレハ交際法ハ知らスシテ可之　好ナラサレハ使ヲ
[illegible]　亦不ス　[illegible]　支那ニ入ル　[illegible]　股オ議ナケレハ停不可事
仲アラハ此一事ヲ以テ本國ニ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
此一法ハ偏ニ[illegible]ヲ[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

内件

條約改定政略羅邑於一案奏啓有之上
奏ハ拙稿案ニ未改所ニ付ハ大全權を政府ハ派出
之員ハ有司正等罷越ス不都合之義ニ有之依
而ハ仲議ニ及ス先般御中ニ於て改議論ハ
中間ハ其ニ不審ニ付ハ俗ニ分般ハ法書ハ
政府ハ公國ニ之不審ニ付ハ法書ハ
ニ及ス仕し使節一同ハ永ク當府ニ延滯し上
故し次第ニ而ハ悔ハ政府ハ内ニ閣下ハ公論

寺島大輔殿

（大隈重信侯傳編纂會）

中遣ツ以上

下官ニ於テハ之ノ代ニ

六月六日

寺島大輔殿

外務卿

[illegible]

下官出發ハ四五日の比ニ成相成ハ遅くとも来月
廿日ハ対馬ニ不都合なく明ハ出帆ハ
新ハ伊決定ハ未定ニ成ハ遅
上ハ受取ハ出来ハ徳ハ受合ハ金島
ハ其ハ ハ雑計 俄ハ島受取
ハ四五年間ハ金島ハ上ハ
命ハ島の様ハ不可
可給ハ

廿七日

（了）

無題メモ

10月26日

10月26日 訪問の際に無礼な言葉を使ったことを謝罪する。

ここ数日、自分は何度も同じ過ちを繰り返している。

今日の会議では、意見を求められた際に、十分に考えずに即座に反対してしまった。

これは、相手の提案を尊重しない、独善的な態度だと思われても仕方がない。

私は、自分の知識や経験を過信しすぎていたのかもしれない。

相手の立場や、その背景にある事情を想像する努力を怠っていた。

今後は、まず相手の話を最後まで聞き、理解してから自分の意見を述べるよう心がける。

(大阪薬信倶楽部編集会)

七月廿六日　接受濟

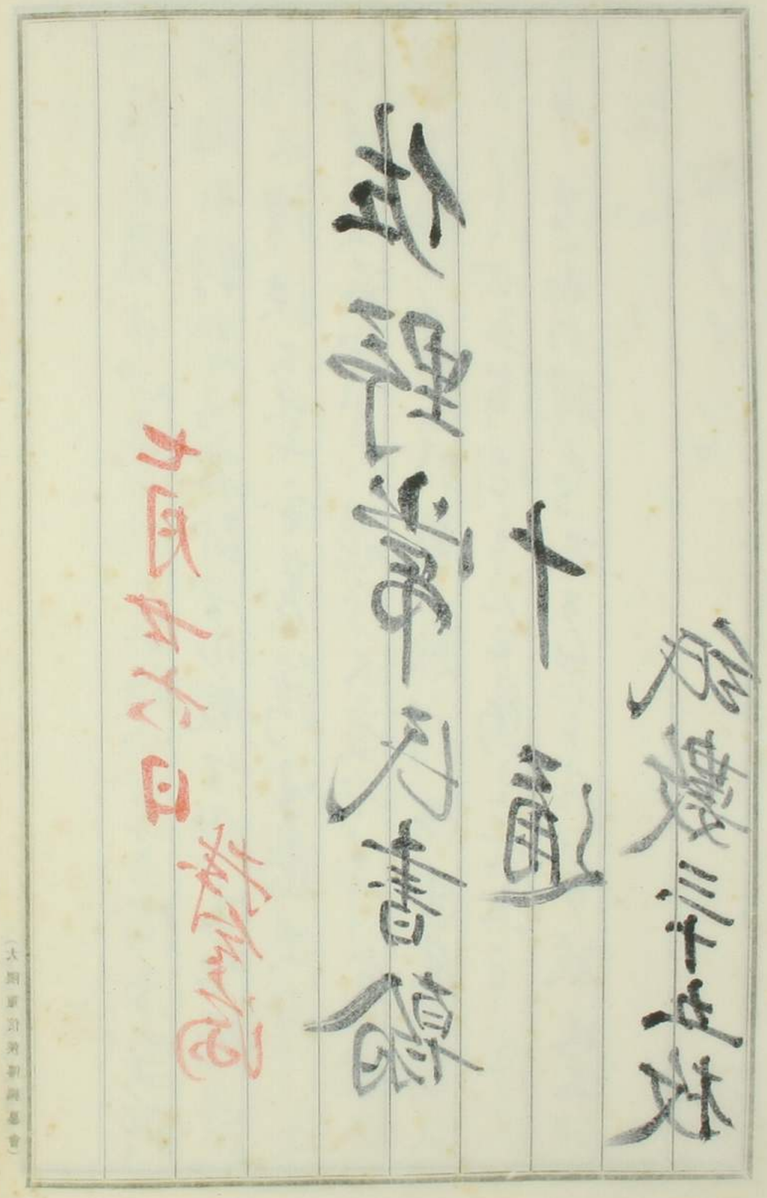
佐野常民書翰

十通

紙數三十五枚

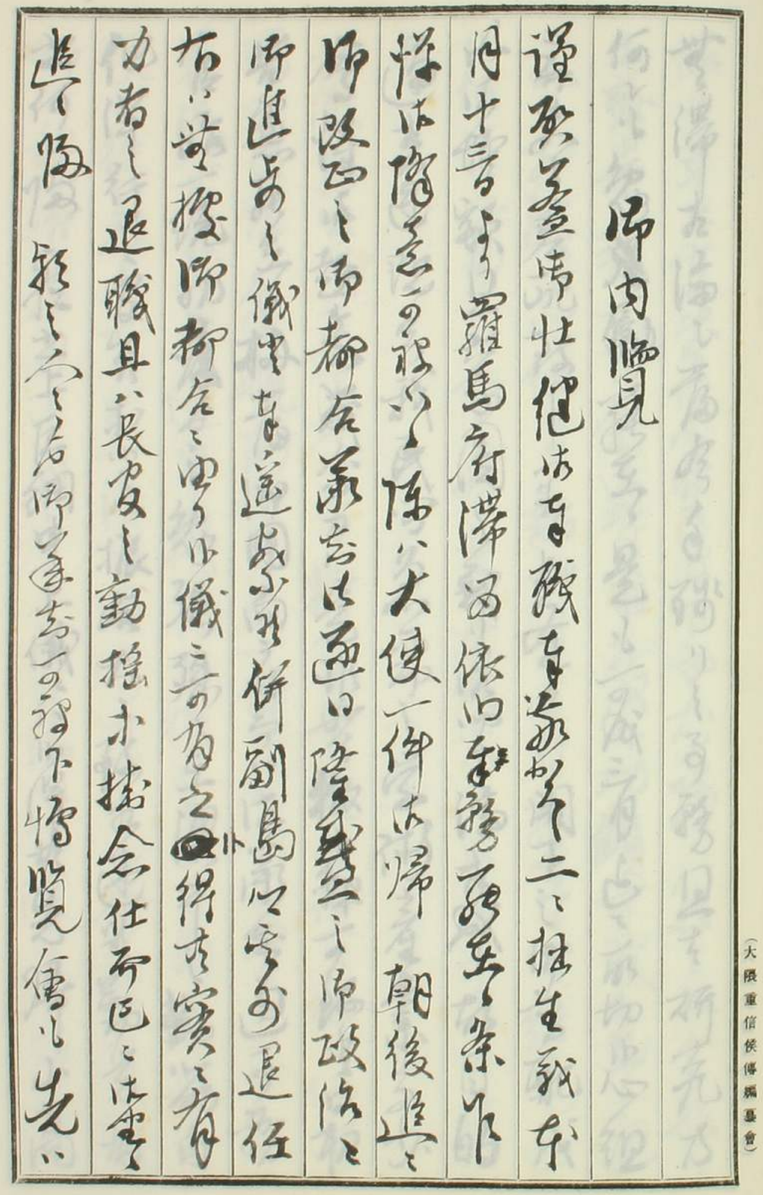
（大隈重信侯傳編纂會）

伊藤博文関係文書



（大隈重信関係傳編纂會）

伊藤博文関係文書



帝国議会
謹啓益御壮健なる歟を二と拝賀致す
月十三日より羅馬府滞留御依頼の新聞紙
拝読仕候之の報ゆ大使一件は帰朝後追
而改正と而御左案は通り陸奥と而改正と
而進呈ゆ儀は遠慮仕候
右は曾根外務卿島田書記官
為者し退職且は長官と動揺小拙会仕而已と
進て候　敬白

（大隈重信関係傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

俄最高ハ何樂為ル歟ト云フ所ノ者交代ヲ心得
ル者ナリ文ヲ越テ有澳國ハ波蘭書記及ル代理ト托都合
次第ノ陶[illegible]ハ[illegible]公使ハ[illegible]
下同使ト書記相待ル[illegible]澳國ヲ方諸侯大歐四月
ヨリ去[illegible]ヲ[illegible]五月中ニハ引拂ヲ[illegible]
[illegible]ハ引拂ヲ[illegible]ハ[illegible]
辨理公使ニ而維有[illegible]ト我[illegible]
[illegible]ハ[illegible]公使ハ大使五人ヲ他ハ都而全權公使ト有之雜
理公使ハ獨逸ハ邦之ハ唯一人駐[illegible]
柄右ハ小邦ト公使合ル[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ

全権分使合ハ引分ケ別帰ト致シ候ト雖モ其事不体裁
ニ付ク就テハ平素ニ于テ分務者ハ其中越高ハ交
不省ト相生素リ平生ト適セス且嫌疑ト御モ有ト存
如何ト相答ヘ其院幸一日初旬ト使ハ交代ト公使ハ
全権分使ニテ設置越高中越ト浪河脇辺ト使設
命ト告ヲ事ヲ有ツ日探ヲ事ヲ処リ遣ヒ使
ニテ同人兵命ト為ス兵隊ハ就テハ仔細ト儀ハ至極御
右ニ付ク伺ヒ儀ハ辞理ト使ト名目ト我
レ引拂ハ命ハ為ス交際上不都合ニ付ク且拙生ハ差急
交代設置致ハ不可尾ニテ引拂ハト内外人共見認ト

モ不失 拙子より如論不肖ニ拙を殘餘上奇備ハ多分
二の為之尤双和ト交係上并博覽會ニテハ國基ニ
揚ケ有ハ云論ル二の為之ニ有萬ト法学識之上自然
不都合ニ況乎モ世ニ小学ニ想ハ所ニ外国称ニ
余ハ仰付被遊引拂當ニ漢政府ニ對シ玉極
都合ニ至ルト云考ヘ此ハ唯今ニ位置ト国等ニ
為之ニ分不顧嫌疑ハ加ル在中ニ國ニ利名ニ為
ニ之ハ歌ニ之ハ国家ニ拙ハ国ニ
作ハ拙生ニ上ニ干係ニ我ニ中出自我拙ニ事志ト
打壓ヒ如ハ陽ハ少ハ不平ニ考ニ以ニ考ト云考ニ書ニ

同じ事ハ法国ハ貴国ト上ニ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
二出[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ

八倍ニ歩増且兵隊ニ業ニ従事ス一際直歩小隊
等ニ施設ス成績頗ル良ニ一方ニ成果早目ニ出手間ニ方面ニ
事務拡生ス海軍ニ於テモ同様ニ兵庫ニ於テ
軍隊ヲ分ツ訓練ニ当ル而シテ海軍ニ於テ
ニ振ル本邦ニ於テ海軍ニ於テ
設ケ而シテ兵庫ニ於テ
有ル所ノ兵隊ニ於テ
況ンヤ一ヶ年滞留諸侯ハ
上ニ於テ
寒雨去秋以来未ダ霽ル能ハズ昨日初ニ晴ル天晴中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

侍郎常氏 撰了

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

米穀ノ高騰ヲ防ク為メ国庫ヨリ米穀ヲ出シ安価ニ売渡シ其ノ価格ヲ低下セシムルヲ以テ主義トスルヲ以テ米穀ノ価格ハ三四年前ニ比シ低下シ且ツ其ノ年ノ豊凶ニ関スルヲ以テ政府ハ為メニ国庫ヨリ出ス所ノ金額ハ一定ノ主義ニ基ク能ハス而シテ備荒儲蓄ノ意味ヲ以テ為ス事業ハ毎年ノ収入ヲ以テ支出スルヲ以テ原則トスルモノ多シ

一橋黄陵寺隆平ニ居ル計方法ハ其ノ関係ノ事業

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

故伊藤公ハ平生慨世抱国之義ニ基シ
皇室ト国家ニ尽ス所ト又元老ト称シ
ヲカル義ハ必定之ハ同公ニ対スル
等閑ヲ顧ミスシテ確信ヲ有スル
徒倫ヲ無要ヲ為スモノ義ト

一月　廿二日

第氏
[illegible]

大隈昭[illegible]

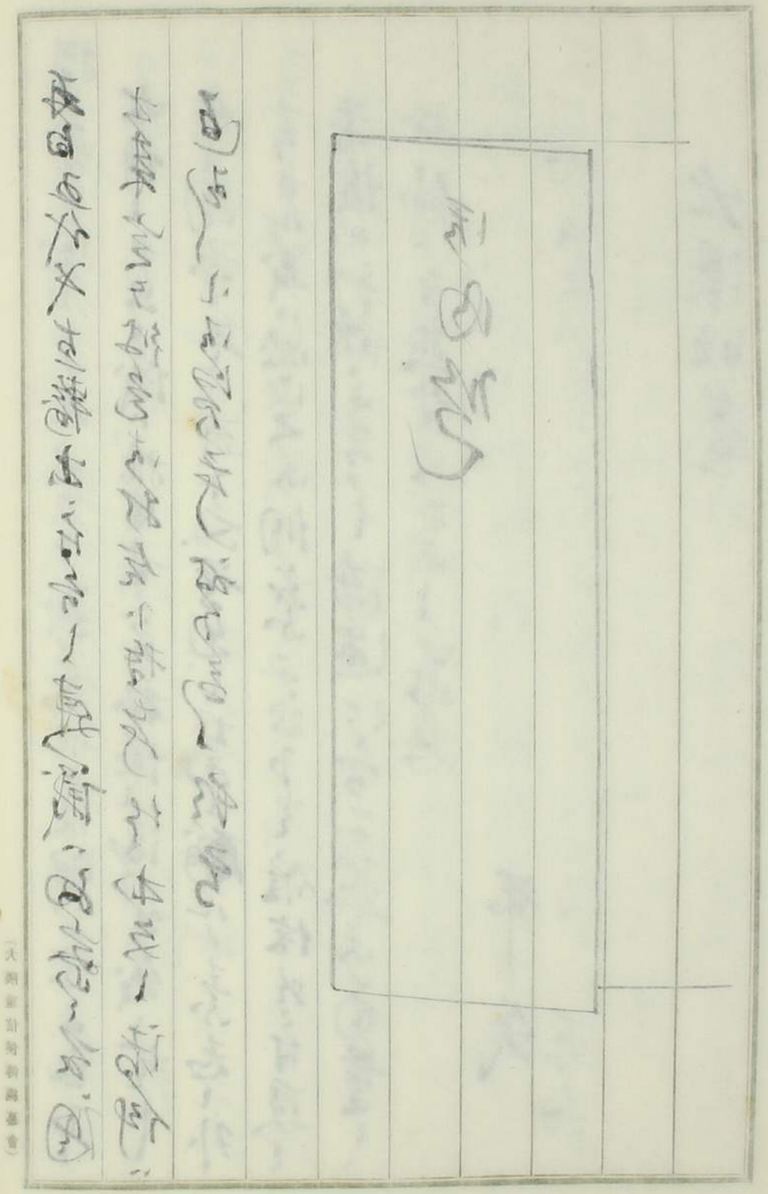
伊理事民 様

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊藤博文関係文書



（大阪市立中央図書館蔵）

謹呈 時事新報 清國一覧 貴下 閣下 貴社 御中

[illegible]

[illegible]

二月十三日

佐野常民

大隈重信殿

閣下

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（大隈重信侯傳編纂會）

再白毛文氏ハ自分ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]

德川家宣朱印

[illegible]

[illegible]

[illegible]

德大寺家別採ル

今般有栖川宮家御用有之ニ付金拾弐
両宛年六朱ノ利付ヲ以テ借用仕度ニ付
保合ヲ以テ左之証文相渡ス様取計度
旨被仰渡ヲ以テ

明治十三年十一月十一日

宮内卿徳大寺實則

大蔵卿佐野常民殿

右ノ本文金額ノ内金拾弐両ハ此節ハ借用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

徳川黎明会蔵

謹呈仕候副島先生去る頃御来訪
先生今朝一度来訪之面会仕候
疾病後者一帝模様と相見申候
神速に御快復に相成候様奉祈
聖慮に出て帝先帝の御事を思ひ
自然と涙を流す

聖旨の有難き事

聖意を体し謹而拝受仕候
日々に新に今日の新
の有様に安心仕候

大隈重信侯傳編纂會

八決シテ決遲延然ル可キ事情ハ如何ト
上ノ方ニ於テ其遲延ヲ責ひ給ふ可き
以来事ニ寄リ事ニ臨ミ可き
三月十四日　　孝民

大隈侯閣下

極内々

大隈重信侯傳編纂會

佐野常民 撮影

大隈重信侯傳編纂會

[illegible]

明治三十年

[illegible]

一日夕言

大隈侯

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝ百一の死を待て何ぞこゝに大破毒四月一日波出
静りゆく秋の日を親鸞聖人形香

極法西洋

伊藤博文関係文書

（大隈重信関係文書編纂会）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大阪市立大学

（大隈重信侯傳編纂會）

佐賀郡第民拔了

陸軍を西洋流儀に改革し七八日
前に脚部腫脹し殆ど歩行を
不能に陥り第二次敗北後
内閣諸賢の招待を機会に
上京せんとせしも左足の疼痛
甚敷歩行困難なるを以て
不得已上京の時期を延期
し位置を以つて心を慰し
終に平日と変ず

（大隈重信侯傳編纂會）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

佐賀事民拔了

四月廿四日帰鍍恩師雑作来翰

与謝蕪村之事ハ十分ニ御注意上候

一生ニ大ニ関係ハ申上ル事ハ一日も

早く皇国ニ対シ大ニ貢献心ヲ

ニ注ク方充分ニ御熟考ハ敬者ハ

熱心ニ充実ニ推察シ申上ル者ニ

為ニ御参考ニ御参考ニ申上ル

以上

十五年

事民

おなじ手紙

さう手紙

大隈伯書翰

仕事民拔了

[illegible]

[illegible]

○生徒之儀ハ[illegible]
土佐中島文厳事ハ[illegible]
○馬場辰猪ハ[illegible]
○[illegible]ハ[illegible]
いつれハ[illegible]
[illegible]

二月十一日

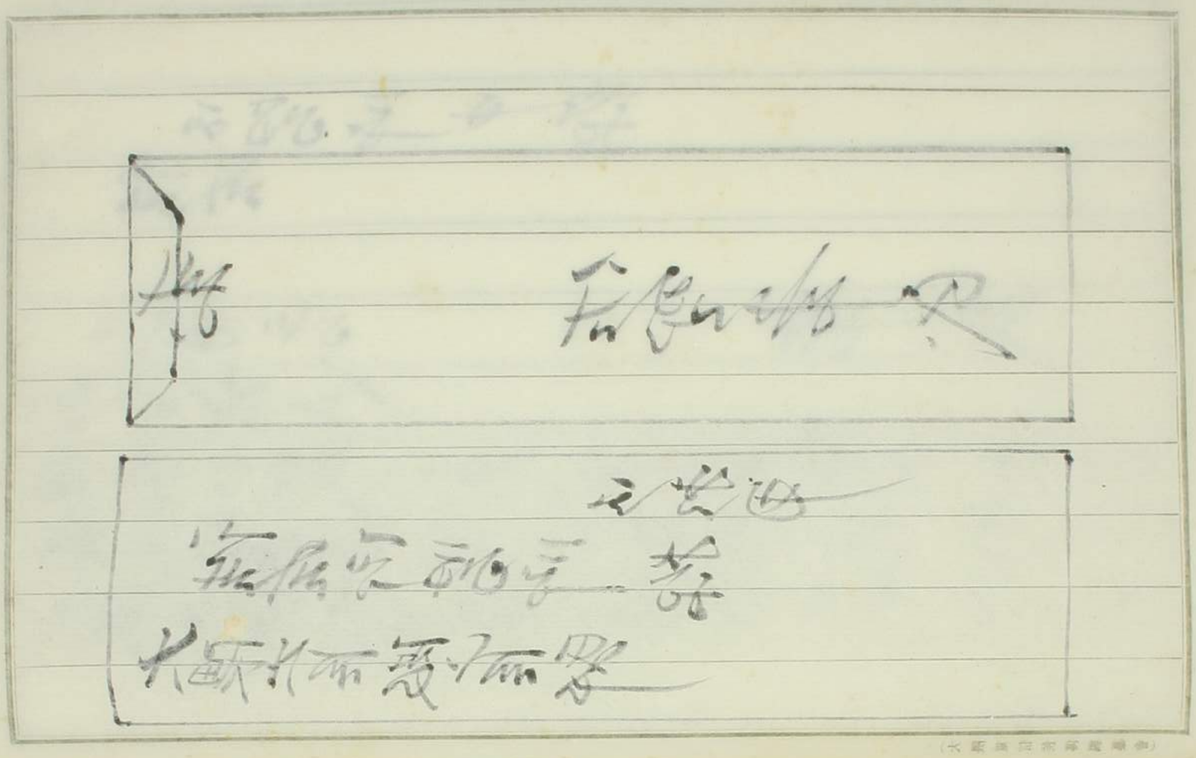
大隈[illegible]

（大阪毎日新聞社原稿用紙）

（大阪毎日新聞社原稿用紙）

大隈大臣昨日来ると共に件の為め為ると共に
將又昨年以来創立の意見を以て
模様如何と共に
示を仰ぐ
十一月三日

伯爵
井上馨

侯爵
山縣有朋殿

大隈大臣閣下
佐野常民